

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ジェンティルドンナが2度目の年度代表馬に輝く

2014年度のJRA賞各賞は下記の通りとなりました。また調教師部門では矢作芳人調教師(栗東)が最多勝利、藤沢和雄調教師(美浦)が最高勝率、角居勝彦調教師(栗東)が最多賞金獲得と優秀技術のタイトルを、騎手部門では戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)がJRA最多勝利とMVJ、川田将雅騎手(栗東・フリー)がJRA最高勝率、岩田康誠騎手(栗東・フリー)がJRA最多賞金獲得、北沢伸也騎手(栗東・フリー)が最多勝利障害、松若風馬騎手(栗東・音無秀孝厩舎)が最多勝利新人のタイトルをそれぞれ獲得。石田敏徳氏の「黄金の旅路 人智を超えた馬・ステイゴールドの物語」が馬事文化賞を、英国ジョッキークラブが同功労賞を受賞しています。

年度代表馬……………ジェンティルドンナ(栗東・石坂正厩舎)
最優秀2歳牡馬……………ダノンプラチナ(美浦・国枝栄厩舎)
最優秀2歳牝馬……………ショウナンアデラ(美浦・二ノ宮敬宇厩舎)
最優秀3歳牡馬……………イスラボニータ(美浦・栗田博憲厩舎)
最優秀3歳牝馬……………ハープスター(栗東・松田博資厩舎)
最優秀4歳以上牡馬……………ジャスタウェイ(栗東・須貝尚介厩舎)
最優秀4歳以上牝馬……………ジェンティルドンナ(栗東・石坂正厩舎)
最優秀短距離馬……………スノードラゴン(美浦・高木登厩舎)
最優秀ダートホース……………ホッコータルマエ(栗東・西浦勝一厩舎)
最優秀障害馬……………アポロマーベリック(美浦・堀井雅広厩舎)

●2014年度のマスコミ各賞が決定

2014年度のマスコミ各賞が発表されました。「東京競馬記者クラブ賞」は蛭名正義騎手(美浦・フリー)、「関西競馬記者クラブ賞」はジェンティルドンナ(栗東・石坂正厩舎)、「関西テレビ放送賞」は岩田康誠騎手(栗東・フリー)、「中京競馬記者クラブ賞」は幸英明騎手(栗東・フリー)が受賞。新人騎手では、関東の「民放競馬記者クラブ賞」が石川裕紀人騎手(美浦・相沢郁厩舎)と木幡初也騎手(美浦・鹿戸雄一厩舎)、関西の「中央競馬関西放送記者クラブ賞」が松若風馬騎手(栗東・音無秀孝厩舎)、「同特別賞」は小崎綾也騎手(栗東・村山明厩舎)となっています。

●北村宏司騎手が1100勝、池添謙一騎手が900勝を達成

1月4日(日)の1回中山1日・第6レースではボウマンミルが1着となり、同馬に騎乗した北村宏司騎手(美浦・フリー)は、史上25人目、現役では12人目となるJRA通算1100勝(1万1896戦目)を達成しました。翌5日(月)の1回京都2日・第12レースではメイショウセアンが1着となり、同馬に騎乗した池添謙一騎手(栗東・フリー)は、史上36人目、現役では17人目となるJRA通算900勝(9899戦目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●高知の倉兼育康騎手がソウル競馬場の最優秀騎手に

昨年、韓国のソウル競馬場で通年騎乗を行った高知の倉兼育康騎手は、101勝でリーディングでは第2位だったものの、制裁等が反映された結果、ソウル競馬場の最優秀騎手に選出されました。

●インディウムが無敗で兵庫2歳王者に、各地の主要2歳重賞

園田ジュニアC(12月31日、園田、1700m)は、2番手を進んだ2番人気のインディウム(牡、父パイロ)が、逃げた単勝1.6倍で1番人気のトーコーヴィーナスを直線半ばで捉え、デビュー以来の連勝を4に伸ばしました。ライデンリーダー記念(12月30日、笠松、1600m、牝馬)は、3番手から3、4コーナー中間で抜け出した3番人気のマルヨバナナス(父エイシンサンディ)が、単勝1.6倍で断然人気のティープリースの追撃を半馬身差で凌いで優勝。東京2歳優駿牝馬(12月31日、大井、1600m)は、3番手追走から4コーナー手前で先頭に立った2番人気のララベル(父ゴールドアリュール)がハナ差の接戦を制し、ローレル賞に続く重賞2連勝を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●2014欧米の種牡馬成績～英はガリレオ、米はタビットが首位

昨年の英国(アイルランドを含む)首位種牡馬は断然の719万3916ポンド取得のガリレオで確定しました。産駒に英愛ダービーのオーストラリアがあり、5年連続6回目の首位。2歳種牡馬はコーディアック、母父はデインヒルが1位。フランスは凱旋門賞連覇のトレヴの父モティヴェイターが334万8045ユーロで2年連続2回目の首位。2歳はシユニ、母父はアナバーが1位。北米はタビットが1648万2151ドルを取得して初の首位。産駒にブリーダーズC・ディスタフを含む米G1・4勝のアンタパブルなど。2歳は総合では2位のジャイアンツコーズウェイ、母父はストームキャットが1位でした。

●2014仏首位騎手はC.スミヨン、調教師はまたもA.ファーブル

昨年のフランス平地競馬の首位騎手はC.スミヨン(33歳)が168勝で4年連続7回目のトップ。2位は152勝のM.ギュイヨン。調教師(賞金順)はA.ファーブル(69歳)が5年連続なんと26回目のトップ。馬主はアルシャカブレッシングが首位でした。